

長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部

長崎県諫早市立石町1003番地

自然環境改善をめざした継続的取り組み
～放置竹林の再利用と普及～



Action

全国的に問題視されている放置竹林は森林環境を悪化させている。その放置竹林を再利用するため研究活動をはじめた。成果として、きのこの菌床に竹パウダーを使うと一般的な米ぬかと比較して生育速度が増加し、コンタミの発生も少ないことを発見した。

研究は竹パウダー製造企業、地元きのこ生産者などが協力し、大学や学会で公開発表し高い評価を得た。現在、全国各地の農園や事業所での試験栽培が開始され、事業化が進んでいる。

今後も私たちはSDGsの目標達成に向けて、継続的に研究活動を進めていきたいと思う。

